

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
学校が楽しいと感じる子どもの割合	%	小85.6 中78.9	小86.0 中81.3	小84.9 中83.6	小84.8 中82.6	※R3に確定 見込前年度 並	小100.0 中100.0	2	本割合は、全国学力テスト（小6・中3）時のアンケート数値である。 目標値に達しない要因としては、子どもを取り巻く教育環境の改善について子ども視点の魅力が多様化しているのではないかと判断する。
地域活動への参加率	%	小73.9 中67.1	小74.4 中61.5	小67.3 中65.8	小73.8 中57.4	※R3に確定 見込前年度 並	小100.0 中100.0	1	本割合は、全国学力テスト（小6・中3）時のアンケート数値である。 目標値に達しない要因としては、子どもを取り巻く環境が多様化するとともに、子どもが参加できる地域活動が減少していることだと判断する。
老朽校舎改修率（非構造部）	%	64	72	67.9	71.4	75.0	75.0	3	令和2年度で目標値を達成している。
屋内運動場改修率	%	73.0	77.8	77.8	77.8	77.8	89.0	3	予定実施事業の見直しにより目標値の達成は困難である。
プール改修率	%	66.7	62.5	62.5	75.0	87.5	88.0	3	令和3年度において目標値を達成する見込みである。
空調整備率（普通教室等）	%	22.2	12.5	62.5	100.0	100.0	100.0	3	令和元年度で目標値を達成している。
子どもの能力・適正に応じた教育が行われていると思う市民の割合	%	25.4	27.0	31.0	28.8	37.1	50.0	1	目標値に達しない要因としては、子どもの能力・適正に応じた教育についての理解の相違と実施しているさまざまな教育事業について市民への周知が不足しているものではないかと判断する。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
家庭教育学級参加者数 (延べ)	人	1,790	1,897	2,031	1,977	520	2,000	1	令和元年度までは、各学級で積極的な学級運営に取り組んでいたが目標値に近い参加者数となったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため例年どおりの学級運営を行うことができず参加者数見込が減少した。
世代間交流体験活動事業 実施自治会(館)※1	件/年	56	57	59	61	60	60	2	世代間交流事業の実施により活動補助金を支給しており、特色のある事業が65自治会の内60自治会で実施されている。
世代間交流事業数	件/年	107	117	129	145	119	100	2	145事業5,957名の参加があり順調に実施されていたが、本年度は新型コロナの関係で事業の中止が多く見られている。
青少年体験講座参加者数	人/年	217	125	123	112	0	80	2	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校の夏休み及び冬休みが短縮されたことや感染症対策を講じてのイベント実施が難しく、体験学習や市子連主催のイベント等が実施できなかった。
世代を超えた地域交流が 行われていると思う市民 の割合	%	24.7	23.0	26.5	27.8	29.3	35.0	2	世代間交流体験活動事業実施自治会数や世代間交流事業は順調に増えている。自治会長等に話を聞いたところ、少子高齢化により事業や参加者が固定化されていたり、小・中学生はスポーツ活動や習い事等が忙しく、参加が少ない状況があるため、交流が行われていないと感じていると思われる。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
生涯学習講座の開講数	講座/年	52	85	86	59	24	30	1	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講座が7月から実施となったこと、また、1月実施予定の2講座が県内での感染拡大や県独自の緊急事態宣言に伴う公共施設の臨時休館に伴い中止となったため開講数が大幅に減少している。
市民図書館利用者数	人/年	31,979	33,973	32,821	31,360	19,422	35,000	3	計画期間中、平成29年度をピークに減少傾向にある。令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館・イベント中止が影響し、目標値の達成が厳しい状況となっている。
出前講座開催数	講座/年	49	46	46	43	20	60	1	平成28年度から微減傾向にあり、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少しているため、目標値の達成は見込めない。
生涯学習を行っている市民の割合	%	15.2	18.7	16.0	17.3	13.9	20.0	1	平成28年度から目標値に向けて徐々に増加傾向にあったが、令和元年度末頃から新型コロナウイルス感染症の影響により生涯学習講座等の実施回数が大幅に減少しているため、目標値の達成は見込めない。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
スポーツ大会等開催数	回/年	18	15	16	13	7	28	1	新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設利用を自粛・利用不可の時期もあったことに伴い、各団体等の大会が開催できなかったため。
総合型地域スポーツクラブ加入数	人/年	622	738	640	600	569	2,100	2	新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設利用を自粛・利用不可の時期もあったことに伴い、スポーツクラブの教室等が開催できず体育施設を利用しなくても会費がかかるためスポーツクラブをやめる方が増加した。
体育施設の使用人数	人/年	155,860	175,625	190,135	166,295	128,121	188,000	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設利用を自粛・利用不可の時期もあったことに伴い、各団体等の大会や施設利用者が減少したため。
スポーツ活動を行っている市民の割合	%	23.9	27.0	23.9	25.1	26.4	40.0	1.2.3	人口減少等によりスポーツクラブ等の会員数の減少や、更に新型コロナウイルス感染症の影響により、体育施設利用の自粛・利用不可の時期もあったことから、大会や施設利用者が減少したことによるもの。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
人権学習講座回数	回/年	16	16	19	25	6	20	1	新型コロナウイルス感染症拡大状況の中、感染拡大防止対策のために、計画していた市主催の人権講演会や関係団体主催の研修会等がやむなく延期・中止となったため、住民への学習機会の提供ができない状況となった。新規採用職員研修1回と人権セミナー3回及び男女共同参画セミナー2回については、実施できたが指標未達成となった。
人権セミナー参加者数	人/年	178	163	160	171	155	220	2	人権セミナーは、住民向け研修と市職員研修を兼ねて実施している。今年度は特に関係する市民団体への個別の案内を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の面で、参加を見送られた市民が多くあったと分析している。
人権を考える市民のつどい参加者数	人/年	520	520	300	300	未実施	520	2	実施を予定していた8月の人権強調月間前の7月から県内の新型コロナウイルス感染者数が増加し、隣市（小林）でも感染者が発生したため、人権講演会中止の判断を行った。
人権について正しく理解していると思う市民の割合	%	36.8	39.7	39.8	36.2	40.2	50.0	2	市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、互いに支え合いながら、共に健やかに安心して暮らせるまちとなるためには、様々な人権課題が存在する中、あらゆる場を通じて、学習機会の提供と啓発活動を継続的に実施する必要がある。

第5次えびの市総合計画 振り返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認								関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2		
市民発表事業参加人数	人/年	1,352	1,344	1,202	1,278	400	1,600	2	計画期間中、平成30年度をピークに減少。令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、ホールを使用したイベントが中止となり、目標値の達成が厳しい状況となっている。
自主文化事業及び文化講座参加者数	人/年	1,954	1,761	2,607	860	260	1,600	2	計画期間中、平成30年度をピークに減少。令和元年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、ホールを使用したイベントが中止となり、目標値の達成が厳しい状況となっている。
歴史民俗資料館入館者数	人/年	8,320	9,823	10,117	9,043	3,248	9,000	1	令和元年度で目標値は達成。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館・イベント中止が影響し、目標値の達成が厳しい状況となっている。
歴史や文化が継承されていると思う市民の割合	%	26.2	26.1	26.5	25.5	28.4	40.0	1.2	少子高齢化の進展、興味・関心の多様化等による地域を取り巻く環境の変化により地域の歴史や文化に触れる機会が減少したことが要因と考えられる。

第5次えびの市総合計画 振返り検証シート②

3.成果指標による進捗確認

指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績見込値	令和3年度 目標値※2	関連する 主要施策	指標の達成・未達成の要因分析
国際交流事業参加者数	人/年	787	1,326	658	5,651	600	1,000	1	令和元年度は事業の実施が多かったため実績数が増加した。 国際交流まつりの実施状況に左右されており、予定どおり実施 できた場合は参加者数も多いが、天候等により変更や中止と なった場合は少ない数字となる。